

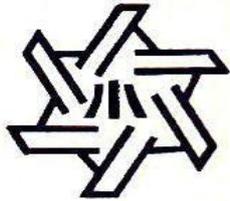
# 二小通信

令和 6年 9月 2日  
東久留米市立第二小学校  
校長 井上 淳

9月号

TEL042-471-0134 Fax042-472-7981

\*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school101.jp/~dai2-e/>



## 『教育目標』

- ◇ 考える子
- ◇ 仲よくする子
- ◇ じょうぶな子

## 2学期もよろしくお願いたします

校長 井上 淳

2学期が始まり、子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。夏休み中、どのように過ごしたかは、2学期の子供たち一人一人の姿が教えてくれることでしょう。

さて、夏休み中にパリオリンピックが開催されました。そして、今、パラリンピック真っ只中です。4年に一度の祭典である、このオリンピック・パラリンピックですが、毎回、選手たちから以下のことを学びます。

- ・試合が終わった後の選手の振る舞いや発せられる言葉
- ・選手の生き方や選手を支える家族や仲間の姿
- ・スポーツの素晴らしさや新たな種目の発見 等

この祭典を見ている一人一人の感じ方やとらえ方は異なるでしょうが、私は毎回、感動しています。その中で、今でも強く印象に残っている場面があります。

それは、1992年のバルセロナ五輪での出来事です。前年の世界選手権男子マラソンにおいて日本人初の優勝をした谷口浩美選手が途中の給水時点で後続の選手に足を踏まれ、大きく転倒しました。靴が脱げてしまっていたため、それを履き直して走り出すこと約30秒、大変な不利を受けてしまいました。それでも猛烈に追い上げ8位でゴールしました。

その後のインタビューの際、私は、谷口選手はどんなことを口にするのだろうと思っていましたが、谷口選手から発せられた言葉は「すみません、こけちゃいました」「これも運。精一杯やりました」だったのです。予想していた内容のセリフではなく、苦笑いをしつつも、あまりにも爽やかだった姿を見て、私は感動のあまり号泣しました。

オリンピック・パラリンピックから学ぶと申し上げましたが、他のスポーツからも学ぶことが多くあります。もちろん、子供たちの運動会からも。

こうして、どこかで学んだことを実生活に活かされると、より豊かな人生になると思っています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

この夏休み、各地で災害が多く発生し、被害にあわれた方が多数いたというニュースがありました。お悔やみ申し上げます。

